

あいち山村振興ビジョン2020～「やま・ひと・なりわい」を継承し、未来を創る～【概要】

I 策定の趣旨

- 【趣 旨】 平成21年3月に策定した「あいち山村振興ビジョン」が平成27年に目標年次が到来することから、これまでの施策の進捗状況や外部環境の変化などを踏まえ、新たに三河山間地域の将来像を描き、その実現に向けた重点的な取組の方向性を明らかにする「あいち山村振興ビジョン2020」を策定する。
- 【目標年次】 2030年(平成42年)頃の地域の姿を展望し、2020年(平成32年)を目標とする。
- 【対象地域】 三河山間地域の6市町村:岡崎市(額田地区)、豊田市(旭、足助、稲武、小原、下山、藤岡の各地区)、新城市、設楽町、東栄町、豊根村

II 基本的な考え方

山村の振興を県全体の活力向上に

三河山間地域が直面する課題や情勢変化を踏まえ、従来ビジョンが掲げる「緑が生きる豊かな山の暮らしの構築」を基本としつつも、本県の伝統文化やモノづくりの技を支え、育んできた同地域の「やま・ひと・なりわい」を県民が継承し、持続発展的な未来を創り出していくことを通じて、山村の振興を県全体の活力向上につなげていくことを新ビジョンのめざすべき基本方向とする。

III 将来像と重点的施策

愛知の元気の源・豊かな山の暮らしの実現

◆山の暮らし

若者を中心として山村になりわい(生業)を求める人々の移住・定住が進み、自然豊かな山村ならではの暮らしと住民間相互の信頼・協働に支えられた地域づくりが一体となって持続的に営まれている地域をめざしていく。

◆山の魅力・活力

地域特性を活かした農林水産業や6次産業化等の取組が一層活発に展開されるとともに、自然環境や伝統文化等の地域資源が磨き上げられ、観光振興や各種ツーリズム等の展開により多彩な山村の魅力が戦略的に創造されていく地域をめざしていく。

◆都市との交流・連携

広域交通等の社会基盤整備の進展とあわせて、矢作川、豊川の各流域圏での交流・連携が一層普及・拡大するとともに、名古屋などの大都市との交流が拡大し、都市と山村の確かな絆のもとに、山村の豊かな暮らしを実現することが、県全体の元気の源となるようめざしていく。

IV 重点的施策の展開

①山里のひと・なりわいをつくる ～山里の暮らしや地域づくりと一体となった「なりわいづくり」を推進していく～

【主な取組】

- (1) 地域特性を活かした農林水産業の振興、
- (2) 農商工連携や6次産業化等の促進、
- (3) 地域課題等に取り組むNPOや企業等の活動促進、
- (4) 担い手人材の育成支援

②地域資源を磨き上げる ～地域の自然や文化、歴史等の地域資源を磨き上げていく～

【主な取組】

- (1) 山里観光の広域的推進、
- (2) 伝統文化の継承・発信、
- (3) 自然環境の保全・利用、
- (4) 生物多様性の保全、
- (5) 鳥獣害対策の推進

③安心・安全な地域社会をつくる ～暮らしを支える安心・安全な地域社会をつくっていく～

【主な取組】

- (1) 生活基盤の確保・充実、
- (2) 地域に根ざした教育環境づくり、
- (3) 女性や高齢者の活躍促進、
- (4) 子育て支援の充実、
- (5) 保健医療福祉サービスの充実、
- (6) 集落間の連携強化

④都市との絆を深める ～多様な主体の連携のもとに都市との絆を深めていく～

【主な取組】

- (1) 戦略的な情報発信、
- (2) 移住・定住の促進、
- (3) 流域圏等の連携強化、
- (4) 大都市等との連携推進、
- (5) 多様な主体の連携促進

⑤持続可能な社会基盤を整備する ～広域交通基盤の整備などの持続可能な社会基盤を整備していく～

【主な取組】

- (1) 広域交通基盤の整備・強化、
- (2) 公共交通の確保・充実、
- (3) 情報通信基盤の拡充とICTの利活用、
- (4) 農地・森林等の整備・保全、
- (5) 産業用地開発と立地促進、
- (6) 防災・減災対策の推進、
- (7) 再生可能エネルギーの導入推進

※下線は新規の取組項目

V ビジョンの推進に向けて

①山村振興推進本部による総合的推進

山村振興推進本部において、新ビジョンに位置づけた施策の進行管理を行う。

②多様な主体との連携・協働

従来の枠組みにとらわれない多様な連携・協力関係を構築するなど、より実効性のある体制のもとで新ビジョンの推進を図る。

③新ビジョンの点検・見直し

成果指標等により評価・点検し、その内容を公表するとともに、新たな課題への対応や各種連携方策を検討し、新ビジョンのさらなる推進を図る。